

カラーピーマン L3 シグナル



品種特性

- 家庭調理用使いきりサイズで、味にくせの無いカラーピーマンです。
- 赤、黄、橙色があり、2~3色組合せの袋詰め販売や、中大果の1果売りにも適します。
- パプリカよりも水分が少なく、サラダや炒め物として重宝され、店持ち性にも優れています。
- 緑果としても肉厚・ジューシーで、味良く、加熱料理に適しています。
- トウガラシマイルドモットルウイルス(PMMoV(P1.2))に対して、抵抗性(L³)があります。

公益財団法人 園芸植物育種研究所

見てキレイ！食べてオイシイ！カラーピーマン 「L3 シグナル」

- 品種の遺伝特性による奇形葉、分枝異常、帯状主枝等が発生する株があり、果実収穫が遅れることがありますので、ご理解のうえ栽培してください。



芯止まり・奇形葉

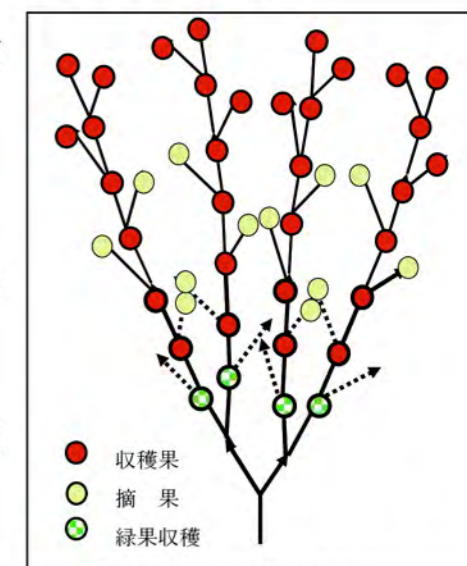
本葉の奇形葉

分枝異常

帯状主枝

栽培の要点

- 露地栽培には適しません。収穫近くにひび割れ部などから腐ったり、しなびたりします。
- 出荷量安定のためにはハウス・雨よけ栽培が必要です。
- 開花から収穫まで、高温期で55日、低温期で85日かかります。
- 収穫が始まるまで着果・肥大による株負担が増え続けます。
- 若苗定植や摘果を徹底して、初期からおう盛な株を作ることが収量安定の基本です。
- 分枝が見える程度の若苗を定植し、遅れる場合は徹底して摘果します。
- 基準はV字4本仕立てです。1, 2分枝摘果, 3分枝緑果収穫, 4~6分枝主枝1果, 7分枝からは主枝1果+側枝1果とします(右図参照)。側枝は5葉残します。
- 6~8本仕立てや大果収穫の場合は、主枝のみに着果させ、側枝は摘果します。
- 青枯病が発生する圃場では、L³を保有する園研育成台木「台助」に接ぎ木してください。
- 果実の濡れや高温で障害果の発生が多くなります。除湿や日除けが必要です。
- カラーピーマンの収穫遅れは、商品性が無くなります。適期収穫が必要です。



公益財団法人 園芸植物育種研究所

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷 2-5-1 TEL047-387-3827 FAX047-386-1455